

島根県公共事業再評価 対応方針（案）

作成日 平成28年7月

番号	事業概要・事業主体等	事業の進捗状況	事業採択時の状況及び社会情勢の変化等	事業効果	環境への配慮 事業を中止した場合の影響	今後の県の方針案
	(事業概要) (事業主体の根拠)	(事業採択・着手・完了予定年度、経過年数) (進捗状況と今後の見込み)	(事業導入の経緯・目的) (事業を取り巻く社会情勢) (事業に対する地元情勢・計画の熟度)	(費用対効果) (コスト削減・代替案等) (その他の効果)	(生活環境・自然環境への影響) (事業を中止した場合の影響)	(継続・中止)
2	<p>(事業名・地区) (一) 皆井田江津線 防災安全交付金（改築） 事業 跡市工区</p> <p>(事業位置) 江津市跡市町地内</p> <p>(事業費) 764,000千円</p> <p>(事業概要) 本事業は、江津市跡市町地内の1.47km区間をバイパス及び現道拡幅により1.5車線の改良により整備するものである。</p> <p>(事業主体の根拠) 道路法第15条。</p> <p>(再評価区分) ②事業採択後10年を経過している継続中の事業</p> <p>(担当部課名) 土木部道路建設課</p>	<p>(事業採択・着手・完了予定年度、経過年数) 事業採択年度：H19年度 用地着手年度：H19年度 工事着手年度：H19年度 完了予定年度：H31年度 経過年数：10年</p> <p>(進捗状況と今後の見込) 全体で74%の進捗(事業費ベース)。 用地補償は完了。 工事は約52%の進捗であり、一部完了。 現在、橋梁下部工事を施工しており、H31年全線完成予定である。</p>	<p>(事業導入の経緯・目的) 本路線は桜江町と江津市街地を結ぶ生活幹線道路の一部であり、市道山中線と併せて地域住民の生活を支える重要な路線である。 しかし、本区間の現道は幅員狭小で線形も悪いため、本事業により円滑で安全な通行の確保を図る。 また、集落中心部では歩道整備やバイパスを設置することにより歩行者等の安全確保を図る。</p> <p>(事業を取り巻く社会情勢) 沿線には地域の拠点施設である跡市地域コミュニティ交流センターがあり、また、跡市小学校跡は小中学生のスクールバス乗降場となっているため、歩道の設置など安全な通行環境の整備が望まれている。</p> <p>また、観光面では周辺の「石見海浜公園」、「風の国」「有福温泉」などの観光拠点を結ぶ路線であり、H23年の市道山中線の開通により、交通量（862台/592台=H27/H22）も増えており、早期の整備が期待されている。</p> <p>(事業に対する地元情勢・計画の熟度) 用地買収は完了しており、地元も協力的なため、事業の早期完成が望まれている。</p>	<p>(費用対効果) B/C=算定せず ※1.5車線の改良は、便益の評価手法が確立されていないため (コスト削減・代替案等) ①事業規模の妥当性 沿線の地形や道路の利用状況を考慮し、2車線改良、1車線改良、局部改良及び現道活用を組み合わせた1.5車線の改良とした。 ②事業方法の妥当性 家屋等立地状況や地形等を考慮し、経済的なルート案を採用した。 ③コスト削減への取組 隣接する敬川の堆積土を盛土材として利用。 (その他の効果) 観光バスなど大型車両の円滑な通行が確保され、観光振興による地域の活性化が見込まれる。</p>	<p>(生活環境・自然環境への影響) 集落中心部の一部をバイパス化することにより、通過交通による騒音・振動等の影響の低減を図った。</p> <p>(事業を中止した場合の影響) 狭隘区間が解消されないため、安全で円滑な交通の確保や歩行者や自転車利用者の安全が確保できない。 用地買収は完了しており中止した場合、用地提供者など地元住民の理解が得られない。</p>	<p>(方針案) 継続</p> <p>(継続の理由) 本事業により、狭隘区間や歩行者の通行危険箇所が解消され、跡市地区など江津市中山間部の拠点集落から江津市街地までの安全で円滑な交通が確保出来る。 また、このことにより集落の維持や活性化に貢献するものである。</p>

『安全』・『安心』な生活関連道路の整備

一般県道 皆井田江津線 跡市工区

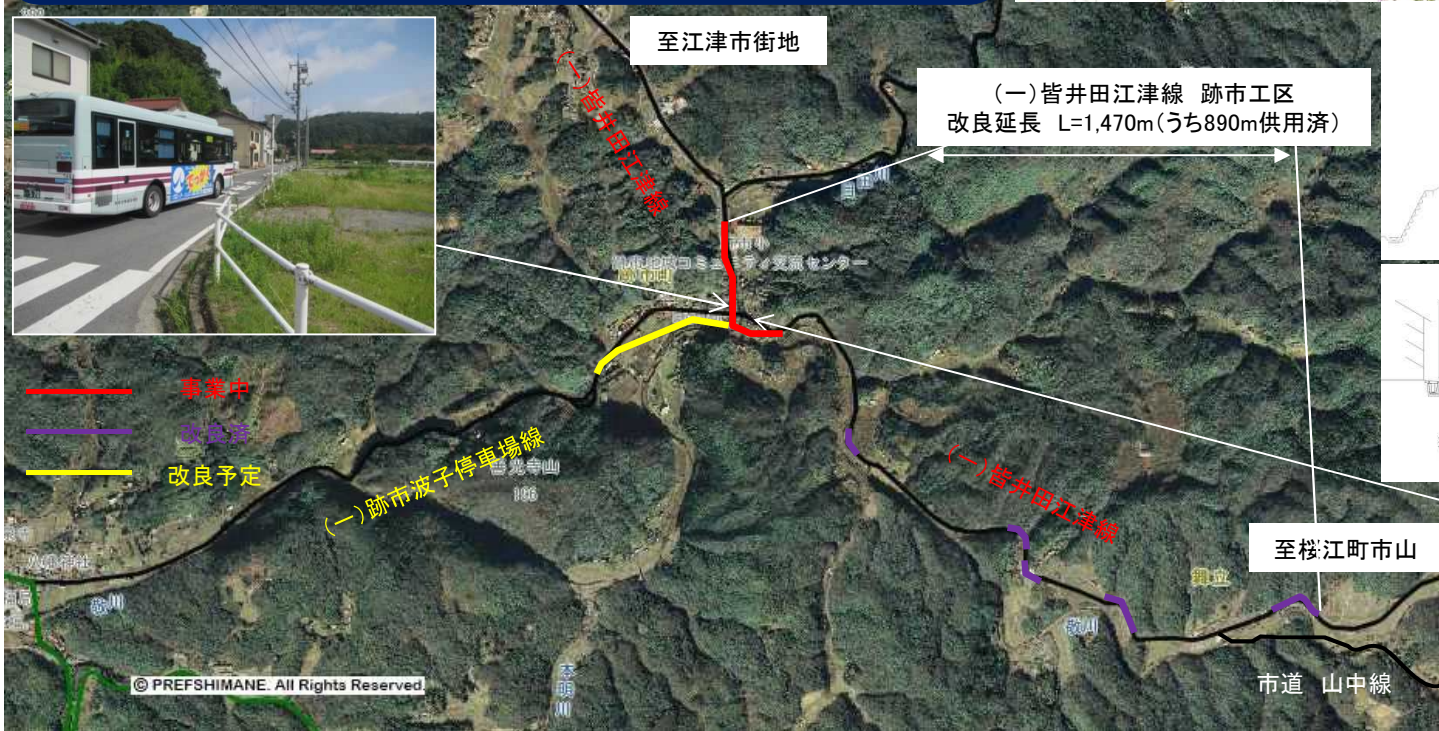
【路線の概要】

本路線は邑智郡邑南町の国道261号を起点とし、江津市の国道9号に至る路線であり、江津市の長谷地区、跡市地区など中山間地域の集落と江津市市街地を結ぶ生活道路の役割を担うと共に、市内の主要な観光拠点を結ぶ重要な路線である。

【事業の概要】

1. 幅員が狭く、カーブ箇所が多数存在することから、車両のすれ違いや大型車の通り抜けが困難
 2. 跡市地区の家屋連担地は、幅員が狭く歩道が無いため、自転車・歩行者の通行上、危険な状況
- ➡ 当該箇所は家屋連担地や急峻な地形を有しており、交通量も比較的少ないことから、**1.5車線の改良**を行う。

【位置図】



(一) 皆井田江津線 跡市工区
改良延長 L=1,470m(うち890m供用済)

